

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉敬愛短期大学	学部・学科名 ※	現代子ども学科
科目名 ※	倫理学	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 前期	曜日・時限 ※	月曜2限
キャンパス※	佐倉	教室※	205教室
学修分野			
授業目的 ※	私たちの常識や心の傾向性について疑いの眼を向け、自分の頭で物事について考える訓練を積むことを目的とする。		
到達目標	古代ギリシアから現代までの倫理的諸問題を取り上げ、他者とのディスカッションを通して、自分の見解を主張できるよう考える力を養うことを到達目標とする。		
授業内容 授業形態 ※	<p>日常の中の当たり前と思っている事柄について、&lt;本当にそうなのか？&gt;と自己と対話することから始め、幼児・児童教育に関わる総合的な子ども理解（保育に関する知識）から現代社会のさまざまな問題まで幅広く取り上げ、コミュニケーションや課題解決能力（コミュニケーションスキル・リーダーシップ・課題解決能力）を養う。</p> <p>講義形式(50%)、ディスカッションやロールプレイング、時にディベートやプレゼンテーションなど(50%)も取り入れます。グループでの意見交換や作業を通して、他者の見解をそのまま鵜呑みにするのではなく、自分の頭で考え、自分の意見を主張できるように努めましょう。</p>		
評価方法 ※	毎回の講義で配布するリアクションペーパー、小テスト、定期試験		
評価基準	リアクションペーパー(2割)+小テスト(1割)、定期試験(7割)		
テキスト	特に教科書は定めませんが、適時こちらで資料を配布します。		
注意事項			
授業シラバス	<p>「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。</p> <p><a href="https://kcn.u-keiai.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp">https://kcn.u-keiai.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp</a></p>		

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部
科目名 ※	西洋経済史Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 前学期	曜日・時限 ※	月曜2限
キャンパス※	千葉経済大学	教室※	オンデマンド
学修分野			
授業目的 ※	<p>私たちにあって今では身近な調味料となった砂糖に着目しながら、ヨーロッパと大西洋を囲む大陸間の富・モノ・人の移動の近代史を学びます。砂糖とはかつて稀少な薬品として取引されていた商品ですが、近代におけるヨーロッパ商人の活動によって「誰もが消費する世界商品」に変化します。この授業ではその砂糖が、どの家庭でも使う甘味料という「世界商品」となっていく過程を、グローバルな生産・流通チェーンという観点から考えます。16～18世紀のグローバル・ヒストリーを理解するにあたって、本講義ではヨーロッパと北米大陸、アフリカ大陸という3地域の経済がどのようにつながり、変化したのかを論じます。この授業は後期の西洋経済史2の講義テーマ「自由貿易と工業化」の前提知識にもなるため、体系的に西洋経済史・世界史概説を履修したい方は受講してください。</p> <p>なお、この科目は卒業認定・学位授与方針のうち、とくに「経済学、経営学に関する専門知識や技能のみならず、幅広く深い教養を身につけ学際的視野を備えていること。」という学習目標に資する科目です。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グローバル・ヒストリーにおける古典研究である「世界システム論」から、現在注目される「消費革命論」までを扱い、砂糖の生産・流通の歴史を通じてヨーロッパと大西洋世界の経済交流史を自分の言葉で説明できるようにします。</li> <li>・授業のみならず課題学習でトピックに関連する歴史資料、図やグラフに触れることで、自分の気づきを文章化できるように練習を積み重ねます。</li> </ul>		
授業内容 授業形態 ※	<p>01_西洋経済史のとびら 02_地中海世界における砂糖の伝播 03_砂糖のための分業__ヨーロッパと世界のつながりを理解するために 04_長期の16世紀_オランダと銀 05_金融都市アムステルダムにおける取引の自由 06_大西洋三角貿易における富の創出 07_お茶を知るー重商主義国家と商業革命 08_フランスの大西洋三角貿易とアジアの産品 09_バブル__ジェントルマン資本主義の勃興 10_労働者のための砂糖__イギリスの工業化と嗜好品 11_レヴァント貿易 12_ヘゲモニー競争への決着 13_大衆のための消費財__世界システム論と砂糖 14_自由貿易主義時代の砂糖_インド洋世界の市場 15_世界システムと消費革命</p>		
評価方法 ※	<p>中間テストおよび期末（Teams上でレポート試験形式のテストを行います） テスト結果はForms機能を使って返却し、中間テストについては必要に応じて授業内で解説をします。 ・中間テスト点(20%)+期末テスト点(20%)、課題を通じた授業参加態度（各6点×10=60%）</p>		
評価基準			
テキスト	川北稔（1996）『砂糖の世界史』岩波ジュニア新書。		
注意事項			
授業シラバス	<a href="https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?cdga=1">https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?cdga=1</a>		

※は必須記入事項

## ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部
科目名 ※	経営管理論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 前学期	曜日・時限 ※	月曜2限
キャンパス※	千葉経済大学	教室※	未定
学修分野			
授業目的 ※	<p>経営管理論とは、組織の管理運営の方法について考える学問です。本授業では、経営学の基礎的な知識からさらに一步踏み込んで、経営管理（マネジメント）の理論を体系的に学びます。経営管理の理論を学ぶにあたり、単なる理論の紹介に終わることなく、現代企業の経営にどのように活かされているのかという点も考慮しながら進めていきます。</p> <p>好むと好まざるとにかかわらず、現在の経済社会は企業に大きく依存しており、皆さんの生活は企業の提供する多様な製品・サービスによって支えられています。社会現象の背景には、数多くの企業という組織体関わっているのです。経営管理で学ぶことがらは、組織に関わるあらゆる人にとって、社会を理解するための基礎的な知識となるでしょう。</p> <p>経営管理論Ⅰでは、最初に管理論の全体像を学びます。その後、主に内部組織のマネジメントに関連した諸理論を学習します。</p> <p>この科目は卒業認定・学位授与の方針のうち、特に【経営学に関する専門知識・思考力、学修目標1】に資する科目です。</p>		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 経営管理の基本的な考え方を理解すること。</li> <li>・ 各テーマの重要なポイントを理解し、簡潔に説明できるようになること。</li> <li>・ 経営管理に対する自らの考えを深め、他者に伝えられるようになること。</li> </ul>		
授業内容 授業形態 ※	<p>第01回 経営管理論Ⅰの概要（なぜ経営管理論を学ぶのか？）</p> <p>第02回 経営の誕生と管理の必要性</p> <p>第03回 経営管理論の発展</p> <p>第04回 組織のマネジメント（個人と組織の関係）</p> <p>第05回 モチベーション論（何によって意欲が生まれるのか？）</p> <p>第06回 リーダーシップ論（最適なリーダーシップとは何か？）</p> <p>第07回 組織構造Ⅰ（組織デザインの基本形）</p> <p>第08回 組織構造Ⅱ（日本型の組織デザイン）</p> <p>第09回 コーポレート・ガバナンス</p> <p>第10回 企業におけるデータ・情報・知識の管理</p> <p>第11回 経営と文化の関係Ⅰ（組織文化のマネジメント）</p> <p>第12回 経営と文化の関係Ⅱ（組織文化と戦略の関係）</p> <p>第13回 日本の経営（日本企業における経営管理）</p> <p>第14回 経営者・企業家の役割</p> <p>第15回 経営管理論の課題と体系</p>		
評価方法 ※	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業への貢献度・授業内レポート・少テストなど「平常点：40点」と「期末試験：60点」の合計によって評価します。</li> <li>・ 授業内レポートに対しては、授業内で全体に対するフィードバックを行います。（履修者が少数であれば個別にフィードバックする予定です）</li> </ul>		
評価基準			
テキスト	教科書は特に指定せず、必要に応じてプリントを配布します。		
注意事項			
授業シラバス	<a href="https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?cdga=1">https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?cdga=1</a>		

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	総合福祉学部 コミュニティ政策学部
科目名 ※	法律社会と人権問題 A	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 前学期	曜日・時限 ※	月曜4限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	遠隔授業
学修分野			
授業目的 ※	現代社会が直面する基本的な諸課題に関する知識と総合的な判断力を身につけるため、日常生活における法律の意義・役割等について基礎的理解を深める。また、人権をめぐる法的問題を通じて、市民としての人権尊重や人権擁護に関する基本的な知識を修得する。本講義を通じて、規範的なものの見方を身につけるとともに、人権意識（守る、尊重しあう心）を高めることを主眼とする。		
到達目標	「淑徳大学千葉キャンパス基礎教育科目体系図」における社会理解科目の学習目標を踏まえ、現代社会が直面する基本的な法律問題に関する知識と総合的に判断し対処する能力を養うことを目指し、以下の3点を本講義の主な達成目標とする。1 基本的な法学知識を修得すること（暮らしの中の様々な法や社会規範に対して問題解決の筋道をつけることができる基礎的知識を修得する）2 法的思考力を修得すること（法的な観点から積極的に「考える」姿勢を身につける）3 法的に説得力をもつディスカッションができること（物事、道理について筋道を立て（論理的に）考える力や説得力ある討議ができる能力を身につける）		
授業内容 授業形態 ※	各回において人権に関わるアクチュアルな法的問題を取り上げ、受講生の興味・関心を喚起する。身近な日常生活にて生起する疑問を大切にしながら、人権が論点となる法的紛争事例を中心として具体的に検討する。各回の授業内で提示される法的紛争事例の核心的な論点を析出し、妥当な解決策への道筋を考える能力の涵養に資する内容とする。 新型コロナウイルス感染症の状況に応じて授業形態については変更があり得るが、ケースメソッドや受講生間のディスカッション等を適宜行う予定である。なお、弁護士等のゲスト講師を招聘する場合もある。【遠隔授業】配信授業動画等に関して学生の質問や意見を求める。そうした意見及び教員の見解を受講生全員で共有することにより、双方向型授業(アクティブラーニング)とする。		
評価方法 ※	筆答試験（あるいは期末レポート）、小テスト、小レポート、リアクションペーパー等を基にして評価を行う。		
評価基準	筆答試験（あるいは期末レポート）については50点、小テストについては20点、小レポートについては20点、リアクションペーパー（提出内容の問題提起・論理性・説得力に基づき3段階評価）等については10点とする。		
テキスト	ISBN:9784641009219, 「ポケット六法. 令和3年版」, 佐伯仁志:大村敦志, 有斐閣, 2020年9月		
注意事項	他の総合教育科目、特に社会科学系の科目を受講し、各学問領域の思考方法に触れておくと良いでしょう。		
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。 <a href="https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp">https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp</a>		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学短期大学部	学部・学科名 ※	ビジネスライフ学科
科目名 ※	金融論入門 A	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 前学期	曜日・時限 ※	月曜5限
キャンパス※	千葉経済大学短期大学部	教室※	203
学修分野	卒業認定・学位授与の方針中のキャリアアップステージに位置づけられます。		
授業目的 ※	この講義では、社会における貨幣の役割について基本事項を理解し、金融の意義と課題について学びます。「金融論入門A」は、貨幣と金融取引の基礎、銀行の仕組みや中央銀行の役割等について学びます。金融業界は、デジタル通貨の登場によって大きな変化を遂げようとしています。こうした現状も踏まえ、未来の銀行やオルタナティブな金融取引についても触れながら講義を進めていく予定です。		
到達目標	①経済の歴史についての基礎知識を習得する。 ②ビジネスシーンで活用できる経済史の知識を習得する。		
授業内容 授業形態 ※	第1回 イントロダクション：講義概要の説明 第2回 貨幣とは何か①：貨幣の発展史 第3回 貨幣とは何か②：貨幣の定義と機能 第4回 金融システムと金融取引 第5回 金融取引の基本①：資本投資 第6回 金融取引の基本②：投資収益率と利子の関係 第7回 金融取引の基本③：投資収益率と利子の関係 第8回 銀行の役割①：企業の資金調達 第9回 銀行の役割②：銀行経営 第10回 銀行の役割③：情報の非対称性 第11回 銀行の役割④：システミックリスクと金融規制 第12回 銀行の役割⑤：未来の銀行 第13回 中央銀行①：銀行の銀行としての役割 第14回 中央銀行②：金融政策の基礎 第15回 中央銀行③：金融政策の現状		
評価方法 ※	テスト（60%）、レポート（20%）、授業への取り組みの能動性（20%）を考慮して評価する。中間レポートは添削して返却するので、振り返りに利用してください。		
評価基準			
テキスト	指定なし。資料を配布して講義を進める。		
注意事項			
授業シラバス	<a href="https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?mode=1&amp;cdga=2">https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?mode=1&amp;cdga=2</a>		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	総合福祉学部
科目名 ※	経済学概論 B	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 前学期	曜日・時限 ※	火曜1限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	遠隔授業
学修分野			
授業目的 ※	経済学の理論や学術的背景を理解し、本分野における社会的課題についての問題意識の捉え方や課題解決の考え方を取得する。		
到達目標	経済学の理論と実践例を理解するとともに、その解決策を自発的に考えられるようになる。		
授業内容 授業形態 ※	経済学の理論や学術的背景を解説した上で、本分野における社会的課題について検証・考察する。  【遠隔授業】配信授業資料に関して学生の質問や意見を求め、それらをフィードバックとともに後日共有し、アクティブラーニングを実践する。		
評価方法 ※	リアクションペーパー、課題レポート、授業内試験の成績で総合評価する。		
評価基準	リアクションペーパーおよびレポート：60点、授業内試験：40点		
テキスト	ISBN：9784492315217, 「マンキュー入門経済学 第3版」, N. グレゴリ・マンキュー：足立英之, 東洋経済新報社, 2019年		
注意事項	初学者にとって馴染みのない学問領域ですが、興味を持って受講することを望みます。		
授業シラバス	「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。  <a href="https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp">https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp</a>		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	植草学園大学	学部・学科名 ※	発達教育学部 発達支援教育学科
科目名 ※	教育学入門	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 前学期	曜日・時限 ※	火曜 1 限
キャンパス※	小倉キャンパス	教室※	さくらホール
学修分野	教養教育科目（基礎科目）		
授業目的 ※	人間や社会に対する理解や生命の尊厳について深く認識し、高い道德心と倫理観をもって行動できる。		
到達目標	<p>1. 「なぜ人間には教育が必要なのか」という教育の基本原理や家庭・学校・地域社会の教育役割・機能に関して、理解し基礎的な知識を習得する。</p> <p>2. 日本の教育の現状や教育課題について、データや資料に基づいて自らの考えをまとめることができるようになる。</p> <p>3. 教育に関する理解を深めるために積極的に予習・復習に取り組んだり、教育課題を解決することができる方法を考えようとしたりする。</p>		
授業内容 授業形態 ※	<p>第1回 講義概要の説明：「教育学入門」における学習の目的、授業計画、授業の進め方、授業外の学修、評価方法、グループ・ワークなど（目標1.2.3）</p> <p>第2回 少子高齢化社会と教育：教育を考える上での基礎データを読む。（目標1.2.3）</p> <p>第3回 人間の成長・発達と教育：「ヒトは教育によって人になる」といわれるが、なぜ人間には教育が必要なのかを学ぶ。（目標1.2.3）</p> <p>第4回 教育の場としての「家庭」：（1）教育基本法第10条の理解とともに、家庭教育の意義とは何かを考える。（目標1.2.3）</p> <p>第5回 教育の場としての「家庭」：（1）教育基本法第10条の理解とともに、家庭教育の意義とは何かを考える。（2）子どもの社会化に果たす役割とは何か。（目標1.2.3）</p> <p>第6回 教育の場としての「学校」：（1）初等・中等教育の役割と機能は何か。（目標1.2.3）</p> <p>第7回 教育の場としての「学校」：（2）高等教育の役割と機能は何か。（目標1.2.3）</p> <p>第8回 教育の場としての「地域・社会」：（1）なぜ地域の教育力は低下したか。（目標1.2.3）</p> <p>第9回 教育の場としての「地域・社会」：（2）学校教育との効果的な連携を学ぶ。（目標1.2.3）</p> <p>第10回 教育とジェンダー：隠れたカリキュラム、役割取得と社会化とは何か。（目標1.2.3）</p> <p>第11回 保育とジェンダー：保育分野にみるジェンダーバイアスとは何か。（目標1.2.3）</p> <p>第12回 教育政策の動向：法令の改正と学習指導要領の改訂の流れを学ぶ。（目標1.2.3）</p> <p>第13回 現代日本の教育課題：（1）体罰、不登校、いじめ、逸脱（目標1.2.3）</p> <p>第14回 現代日本の教育課題：（2）多文化共生と教育（目標1.2.3）</p> <p>第15回 現代日本の教育課題：（3）学力調査における日本の動向（目標1.2.3）</p>		
評価方法 ※	授業への取り組み（発言、発表）やリアクションシート、各回の予習復習課題（30%）＋定期試験（70%）の成績を総合して評価する。		

評価基準	<p>1. 「なぜ人間には教育が必要なのか」という教育の基本原理や家庭・学校・地域社会の教育役割・機能に関して、理解し基礎的な知識を習得できたか。</p> <p>2. 日本の教育の現状や教育課題について、データや資料に基づいて自らの考えをまとめることができたか。</p> <p>3. 教育に関する理解を深めるために積極的に予習・復習に取り組んだり、教育課題を解決することができる方法を考えようとしたりしたか。</p>
テキスト	<p>書籍名 『教育の基礎と展開（第2版）－豊かな教育・保育を目指して－』</p> <p>著者名 高野良子・武内清編著</p> <p>出版社 学文社</p> <p>価格 2000円＋税（2018年4月刊行） ISBN・ISSN ISBN978-4-7620-2806</p>
注意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自覚的・主体的・能動的な受講が望まれる。</li> <li>・講義だけでなく、グループ・ディスカッションや発表などの活動を組み込み、双方向・参加型授業につとめる。</li> <li>・提出物は、内容チェック後、フィードバックする。</li> <li>・対面での授業を基本とするが、新型コロナ対策により遠隔授業を実施する場合があります。</li> </ul> <p>その場合は、第1回・第2回授業の前日にキャンパスプランポータルにて掲示する。</p>
授業シラバス	<p><a href="https://118.21.56.20/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx">https://118.21.56.20/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx</a></p>

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	淑徳大学	学部・学科名 ※	総合福祉学部
科目名 ※	地域スポーツ概論	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 前学期	曜日・時限 ※	火曜2限
キャンパス※	千葉キャンパス	教室※	遠隔授業
学修分野			
授業目的 ※	本授業の目的は、「スポーツ」の姿を多角的に検討することにより、地域とスポーツの関係を理解することである。		
到達目標	<p>①地域とスポーツの関係について十分に理解し、それを他者に説明することができること。</p> <p>②地域活性化のために、スポーツがどのような役割を果たすことができるかを、他者に説明することができること。</p>		
授業内容 授業形態 ※	<p>スポーツは、「競技スポーツ」としての捉え方以外に、地域福祉、地方創生、地域活性化等、多様な捉え方につながる概念であると考えられる。本講義では、「地域」と「スポーツ」の関係を捉え直すとともに、PBLやサービスラーニングなど実践的な活動を取り入れつつ、スポーツの可能性について検討する。</p> <p>授業形態は新型コロナウイルス感染の状況に応じて変化する可能性があるため、2つの授業形態別に記す。【遠隔授業】オンデマンド講義形式を中心におこなう。授業の双方向性を実現するため、オンラインアプリケーションを用いることで学生相互の意見交換等を実施する。また、一部サービスラーニングをとり入れる。</p>		
評価方法 ※	レポート（中間レポート1回及び最終レポート1回）及び授業内での学修成果の発表に基づき評価を行う。		
評価基準	中間レポート30点、最終レポート40点、授業内で実施するワークの成果：30点S:100～90点、A：89～80点、B：79～70点、C：69～60点、D：60点未満		
テキスト	ISBN：9784766423723, 「スポーツのちから：地域をかえるソーシャルイノベーションの実践」, 松橋崇史：金子郁容, 慶應義塾大学出版会, 2016年		
注意事項	地域における実践活動に必ず参加すること。（日程は、1回目の授業時に連絡する）		
授業シラバス	<p>「ログイン画面へ」のボタンをクリックし、「ゲストユーザー」の文字をクリック、「シラバス照会」をクリックするとシラバス検索ができます。</p> <p><a href="https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp">https://passport-web.soc.shukutoku.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp</a></p>		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学短期大学部	学部・学科名 ※	ビジネスライフ学科
科目名 ※	観光ビジネスⅠ	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 前学期	曜日・時限 ※	火曜2限
キャンパス※	千葉経済大学短期大学部	教室※	401
学修分野	卒業認定・学位授与の方針中のキャリアアップステージに位置づけられます。		
授業目的 ※	<p>観光は旅行業、宿泊業をはじめとして運輸業、飲食業などいろいろな産業と関連して地域の雇用創出に役立っています。千葉県には全国トップの観光施設である東京ディズニーリゾートや国内外から多くの人が集う幕張メッセなどがあります。観光による地域活性化に取り組んでいる事例を見ながら観光の現状を学びます。</p> <p>観光振興や国際会議の誘致などの担当教員の実務経験に基づいて、観光ビジネスの様々なネットワークによる事業展開の事例を紹介しますので、観光ビジネスの魅力を理解することができます。</p> <p>観光ビジネスに従事しているゲストスピーカー（旅行業など）の講義も行う予定です。</p>		
到達目標	<p>①地域活性化事例から現状の観光ビジネスを理解する。</p> <p>②観光ビジネスの具体的なイメージを持ち、進路決定に役立てる。</p>		
授業内容 授業形態 ※	<p>以下の内容で進める予定です。</p> <p>第1回 イン트로ダクション</p> <p>第2回 千葉県観光の現状</p> <p>第3回 日本の観光振興状況</p> <p>第4回 グリーンプルーツーリズム</p> <p>第5回 産業インフラの効果（1）</p> <p>第6回 産業インフラの効果（2）</p> <p>第7回 観光資源（1）</p> <p>第8回 観光資源（2）</p> <p>第9回 国際観光（インバウンドの効果）（1）</p> <p>第10回 国際観光（インバウンドの効果）（2）</p> <p>第11回 地域の活性化事例（1）</p> <p>第12回 地域の活性化事例（2）</p> <p>第13回 観光ビジネスで働くこと</p> <p>第14回 ホスピタリティマインド</p> <p>第15回 まとめ</p>		
評価方法 ※	<p>授業への取り組みの能動性（30%）、期末試験（70%）により総合的に評価する予定です。</p> <p>毎授業時に記入してもらった質問票をもとに、次回の授業時に追加説明を行います。授業であいまだった点の確認に役立ててください。</p>		
評価基準			
テキスト	<p>指定なし。</p> <p>毎授業時に資料プリントを配布します。</p>		
注意事項			
授業シラバス	<a href="https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?mode=1&amp;cdga=2">https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?mode=1&amp;cdga=2</a>		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学短期大学部	学部・学科名 ※	ビジネスライフ学科
科目名 ※	健康科学概論 (αH)	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 前学期	曜日・時限 ※	火曜3限
キャンパス※	千葉経済大学短期大学部	教室※	204
学修分野	卒業認定・学位授与の方針中の基礎科目に位置づけられる。		
授業目的 ※	より望ましいライフスタイルを獲得するための知識を学びます。 特に、青年期というライフステージに必要な健康に関する知識を学んでいきます。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康とは何か?どのような状態をさすのかを理解する。</li> <li>・食事、運動(含む外傷、予防)、睡眠等に関する正しい知識を獲得する。</li> <li>・健康なライフスタイルを獲得するための様々な知識を獲得する。</li> </ul>		
授業内容 授業形態 ※	<p>第1回 オリエンテーション、健康とは/W.H.O.の世界保健憲章(前文)に見る「健康」</p> <p>第2回 「体育」の定義/「知育」「徳育」「体育」と三育主義。</p> <p>第3回 「体力」の定義/防衛体力と行動体力、体力の構成要素</p> <p>第4回 様々な指数(1)/BMIによって何が評価できるのか。指数を算定・評価します</p> <p>第5回 様々な指数(2)/カウプ指数、ローレル指数によって何が評価できるのか。指数・評価を算定します</p> <p>第6回 様々な指数(3)/ブリンクマン指数によって何が評価できるのか。指数算定・評価します</p> <p>第7回 水分補給量/生活やスポーツ時に必要な水分量を算定します</p> <p>第8回 身体の構造と機能(1)/骨、関節、筋肉の構造と機能について学びます</p> <p>第9回 身体の構造と機能(2)/神経系の働き、乳幼児期における神経系の発達について学びます。呼吸器の働きについて学びます</p> <p>第10回 運動(スポーツ)外傷(1)/運動(スポーツ)時の外傷における救急処置について学びます</p> <p>第11回 運動(スポーツ)外傷(2)/運動(スポーツ)時の外傷における救急処置について学びます</p> <p>第12回 感染症/感染症の種類、感染経路、感染症予防の手段について学びます</p> <p>第13回 健康な生活設計/薬物、アルコール、たばこと健康について学びます</p> <p>第14回 ストレスと健康/ストレスの身体への反応、運動とストレスの関係について学びます</p> <p>第15回 まとめ/授業のまとめと振り返りを行います</p>		
評価方法 ※	小テスト(40%)、提出物・課題(40%)、授業への取り組み(20%)		
評価基準			
テキスト	教科書の指定はないが、毎回資料を配布する		
注意事項			
授業シラバス	<a href="https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?mode=1&amp;cdga=2">https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?mode=1&amp;cdga=2</a>		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部
科目名 ※	財務会計論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 前学期	曜日・時限 ※	火曜3限
キャンパス※	千葉経済大学	教室※	未定
学修分野			
授業目的 ※	<p>財務会計論Ⅰ・Ⅱでは、主に日商簿記検定2級レベル（商業簿記Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ）で学習する主要論点を取り上げ、その基本的な考え方（会計理論）を学んだ上で、具体的な会計処理方法の計算構造を理解することを目指します。</p> <p>とくに財務会計論Ⅰでは、主要論点として、棚卸資産会計、金融商品会計、有形固定資産会計、引当金会計など各種取引に係る会計基準を取り上げます。</p> <p>なお、この科目は、卒業認定・学位授与方針のうち、特に経営学に関する専門知識や技能（学修目標1）に資する科目です。</p>		
到達目標	<p>財務会計論Ⅰ・Ⅱは、主に日商簿記検定2級レベル（商業簿記Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ）の論点を理論的に理解することを目指します。</p> <p>具体的に言えば、ある取引を貨幣的数値で表現するにあたり「なぜ」この方法が採用されているのか、または、数ある代替処理方法のなかで「なぜ」この方法が用いられているのか、を論理立てて説明できるようになることを目標とします。</p>		
授業内容 授業形態 ※	<p>第1回 ガイダンス、財務会計の基礎</p> <p>第2回 棚卸資産会計（1）：取得原価、売上原価計算</p> <p>第3回 棚卸資産会計（2）：払出単位計算、期末評価法</p> <p>第4回 金融商品会計（1）：債権・債務</p> <p>第5回 金融商品会計（2）：有価証券の期末評価</p> <p>第6回 金融商品会計（3）：デリバティブ取引</p> <p>第7回 中間試験 および 有形固定資産会計（1）：減価償却</p> <p>第8回 有形固定資産会計（2）：圧縮記帳</p> <p>第9回 無形資産会計</p> <p>第10回 リース会計</p> <p>第11回 引当金会計（1）：評価性引当金と負債性引当金</p> <p>第12回 引当金会計（2）：退職給付引当金</p> <p>第13回 負債会計：社債</p> <p>第14回 資産除去債務会計</p> <p>第15回 資産会計と負債会計（本授業で学んだことの整理）</p>		
評価方法 ※	<p>平常点（確認テスト、中間試験）40%、期末試験60%</p> <p>なお、確認テストについては、授業内で解説します。</p>		
評価基準			
テキスト	<p>レジュメ（講義内容および演習問題）を配布します。配布にあたりTeamsを利用する場合があります。</p>		
注意事項			
授業シラバス	<p><a href="https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?cdga=1">https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?cdga=1</a></p>		

※は必須記入事項

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学	学部・学科名 ※	経済学部
科目名 ※	日本経済論Ⅰ	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 前学期	曜日・時限 ※	火曜3限
キャンパス※	千葉経済大学	教室※	オンデマンド
学修分野			
授業目的 ※	<p>現在の日本経済は深刻な財政赤字を抱えながら、人口減少と少子高齢化、企業の国際競争の進展、雇用環境の急激な変化など様々な課題に直面している。</p> <p>本講義では、日本経済における重要なテーマを経済学的視点から概観する。このうち、日本経済論Ⅰでは、戦後からの日本経済の軌跡をたどり、高度経済成長、バブル経済、長期不況、構造改革、リーマンショック、アベノミクス、コロナショックについて取り上げながら、今後の日本経済の課題について解説する。講義では、履修者の理解を深めるためにメディアで注目される最新の経済トピックも紹介する。</p> <p>教員は、2012年～2017年（独）国際協力機構（JICA）の研究部門に勤務経歴あり。国際協力の実務経験に基づいて、日本を含むアジアを中心としたグローバル経済について専門的な知識と経験を交えた講義を展開する。</p> <p>なお、この科目は卒業認定・学位授与の方針のうち、特に経済学の専門知識、思考力・判断力および主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度に資する科目である。</p>		
到達目標	<p>基礎的な経済理論の分析ツールを用いて、戦後の日本経済の成長のメカニズムと主要な経済課題について理解する。</p>		
授業内容 授業形態 ※	<p>第1回 ガイダンス（授業の目的・内容・教科書・評価方法など）</p> <p>第2回 現代経済の基本的な仕組み</p> <p>第3回 日本経済の主な経済指標</p> <p>第4回 日本経済の7つの課題（1）少子高齢化、社会保障制度、人生100年時代</p> <p>第5回 日本経済の7つの課題（2）所得格差、地域間格差、企業規模間格差、政府の失敗</p> <p>第6回 政府の役割と景気循環</p> <p>第7回 日本経済の歩み（1）経済復興期（1945～54年）</p> <p>第8回 日本経済の歩み（2）高度成長期（1955～70年）</p> <p>第9回 日本経済の歩み（3）低成長期（1971～85年）</p> <p>第10回 日本経済の歩み（4）バブル経済とその崩壊</p> <p>第11回 日本経済の歩み（5）不良債権問題と金融システム不安</p> <p>第12回 日本経済の歩み（6）日本経済の長期低迷（デフレ経済）</p> <p>第13回 日本経済の歩み（7）日本的経済システムの変貌</p> <p>第14回 日本経済の歩み（8）経済再生を目指した「構造改革」とその経済効果</p> <p>第15回 日本経済の歩み（9）リーマンショックからコロナショックへ</p>		
評価方法 ※	<p>中間試験（35%）、定期試験（35%）、課題提出状況（30%）により成績を評価する。試験や課題に対しては、授業内で全員にフィードバックする。</p> <p>教室内の私語やイヤホン（ワイヤレス含む）の使用は厳禁とし、このルールに従うことのできない履修者は平常点の減点対象とする。度重なる通告にも関わらず、改善が見られない場合は、定期試験の受験資格を与えない。</p>		
評価基準			
テキスト	<p>浅子和美・飯塚信夫・篠原総一編 2020『入門日本経済（第6版）』（有斐閣）</p> <p>八代尚宏 2017『日本経済論・入門（新版）戦後復興からアベノミクスまで』（有斐閣）</p>		
注意事項			
授業シラバス	<p><a href="https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?cdga=1">https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?cdga=1</a></p>		

ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	千葉経済大学短期大学部	学部・学科名 ※	ビジネスライフ学科
科目名 ※	自然科学への招待 A	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 前学期	曜日・時限 ※	火曜4限
キャンパス※	千葉経済大学短期大学部	教室※	202
学修分野	卒業認定・学位授与の方針中のベースステージに位置づけられます。		
授業目的 ※	<p>「物質・原子・原子核・素粒子・・・（ミクロの世界）」</p> <p>自然の世界は、大きさのスケールでいえば極微の素粒子から極大の宇宙まで広がり、時間のスケールでいえば宇宙の誕生からその死まで続いています。自然科学は、これら自然に存在するものすべてを対象とし、それらの構造や仕組み、変化の仕方を調べ、できるだけ簡単な法則でしかも統一的に理解しようとする学問です。</p> <p>広い意味の自然科学は、数学や理科（物理・化学・地学・生物など）に相当しますが、ここでは特に理科（物理・化学・地学）に関わる内容を扱います。“理科”という難しいというイメージを抱くかもしれませんが、授業では難しい数式や計算は使いません。スライドや動画を使って、できるだけわかりやすく概念を伝えるような説明を行うつもりです。</p> <p>「自然科学への招待A」では特に、光や音、原子や原子核、放射線、素粒子といった「小さな（ミクロ）世界」に目を向けます。また毎月の星座や天文現象なども紹介します。</p>		
到達目標	<p>① 社会人として知っておくべき理科の知識と教養を身につける。</p> <p>② 身近なものごと・現象の理科的理解ができるようになる。</p> <p>③ 公務員試験「自然科学」分野の準備となる。</p>		
授業内容 授業形態 ※	<p>以下の内容で進める予定です。 （履修者の状況により適宜変更する可能性もあります。）</p> <p>第1回 自然界のスケール 第2回 数値の表し方 第3回 単位 第4回 光と色 第5回 虹と青空 第6回 電磁波 第7回 音 第8回 運動・力・重力 第9回 物質と分子・原子 第10回 固体・液体・気体 第11回 元素の周期表 第12回 原子の構造 第13回 原子核 第14回 核分裂と核融合、放射線 第15回 素粒子</p> <p>講義を中心として、PCによるスライド・資料提示を行います。</p>		

評価方法 ※	授業への取り組みの能動性（30%）、期末試験（70%）により総合的に評価する予定です。 毎授業時に記入してもらう質問票をもとに、次回の授業時に追加説明を行います。授業であいまいだった点の確認に役立ててください。
評価基準	
テキスト	指定なし。 毎授業時に資料プリントを配布します。
注意事項	
授業シラバス	<a href="https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?mode=1&amp;cdga=2">https://syllabus.cku.ac.jp/SyllabusGaku/default.asp?mode=1&amp;cdga=2</a>

※は必須記入事項

## ちば産学官連携プラットフォーム 単位互換共通シラバス

大学名 ※	植草学園大学	学部・学科名 ※	発達教育学部 発達支援教育学科
科目名 ※	基礎生物学	単位数 ※	2
開講学期※	2021年度 前学期	曜日・時限 ※	火曜 5 限
キャンパス※	小倉キャンパス	教室※	基礎医学実習室
学修分野	教養教育科目（基礎科目）		
授業目的 ※	<p>人間や社会に対する理解や生命の尊厳について深く認識し、高い道徳心と倫理観をもって行動できる。</p> <p>教育・保育の発展に寄与できる科学的・倫理的思考ができる。</p> <p>自らの専門分野（小学校教育，特別支援教育，幼児教育・保育）について広い視野を持ち，正しい知識・確かな技能に基づき実践することができる。</p>		
到達目標	<p>1.生き物や生命現象についての基本的な知識を習得する。</p> <p>2.生物の中に潜む法則性と生物間の多様性について、多様な側面から考えることができるようになる。</p> <p>3.日常の生活と,生物学との係わりや意義について理解できるようになる。</p>		
授業内容 授業形態 ※	<p>第1回 ガイダンス(目標1,2,3)</p> <p>第2回 細胞の構成成分1(炭水化物の種類と分子構造)(目標1,2,3)</p> <p>第3回 細胞の構成成分2(タンパク質の種類と分子構造)(目標1,2,3)</p> <p>第4回 細胞の構成成分3(脂質・核酸の種類と分子構造)(目標1,2,3)</p> <p>第5回 細胞の構成成分4(ミネラルの種類)(目標1,2,3)</p> <p>第6回 消化の仕組み(人は何故お腹がすくのかを考えていく。)(目標1,2,3)</p> <p>第7回 糖代謝(目標1,2,3)</p> <p>第8回 タンパク質・脂質の代謝(目標1,2,3)</p> <p>第9回 生物の進化と分類(目標1,2,3)</p> <p>第10回 動物の進化と分類(目標1,2,3)</p> <p>第11回 脊椎動物の進化と分類 1 (目標1,2,3)</p> <p>第12回 脊椎動物の進化と分類2 (恐竜をがどのように進化していったのかを探ることで、爬虫類の進化と分類について) (目標1,2,3)</p> <p>第13回 哺乳類の進化と分類 1 (哺乳類全般の進化の新しい考え方) (目標1,2,3)</p> <p>第14回 哺乳類の進化と分類 2 (哺乳類ありながら陸上から水中に生息場所を戻した鯨について) (目標1,2,3)</p> <p>第15回 棘皮動物の進化と分類(目標1,2,3)</p>		
評価方法 ※	期末試験（70%），平常点（10%），ポートフォリオ・レポート等（20%）の総合評価とする。		
評価基準	<p>1.生き物や生命現象についての基本的な知識を習得すること。</p> <p>2.生物の中に潜む法則性と生物間の多様性について、多様な側面から考えることができること。</p> <p>3.日常の生活と,生物学との係わりや意義について理解できること。</p>		
テキスト	教科書は用いない。必要な資料等を授業中に配布する。		
注意事項	<p>生物学に基礎について，日常生活との関係から理解し，それに基づいて判断できるような資質の獲得を目指す。また，関連する分野の広い生物学全体を俯瞰したり，自分なりの生命観を持てるようになる。</p> <p>対面での授業が見込める場合は、コロナ対策のため、基礎医学実験室に収容可能な24人を上限とする。</p> <p>対象学科が「発達支援教育学科」となっているため、発達支援教育学科の学生を優先する。</p>		
授業シラバス	<a href="https://118.21.56.20/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx">https://118.21.56.20/public/web/Syllabus/WebSyllabusKensaku/UI/WSL_SyllabusKensaku.aspx</a>		